

■日時 令和5年8月19日(土) ■天候 晴れ

長尾谷高校・通 対 星槎国際高校・東京・通

■球場 駒沢硬式野球場 第4試合 4回戦

■試合時間 2時間04分 ■備考 7回コールド

■審判 球審:小田 塁審:竹本 牧野 須田

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7									計	安	失
長尾谷・通	大阪	0	0	0	1	0	0	0									1	1	4
星槎東京・通	東京2	1	0	0	4	1	0	2									8	9	2

長尾谷・通

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7						
1	遊	田中梨宮	3	0	0	0	投ゴ		投ゴ		二ゴ		四球						
2	左	畑蓮太郎	3	0	0	0	遊失		左飛		投ゴ		死球						
3	投	小倉創	3	0	0	0	四球		投ゴ		投ゴ		三ゴ						
4	捕	中野琢斗	3	0	0	0	中飛				三ゴ		二ゴ						
5	二	岡田大輝	2	1	0	0	投直				四球		中飛						
6	右	近藤真賢	2	0	1	0		中安			四球		三振						
6		大野陽生	0	0	0	0													
7	中	森野愛斗	3	0	0	0				三振		遊失						三振	
8	三	三浦梨央	3	0	0	0				一飛		二ゴ						三振	
9	一	東谷琉希	2	0	0	0				二ゴ		二ゴ						四球	
合計			24	1	1	0	残塁:8 併殺:2												
備考																			

■バッテリー

投手	捕手
小倉創	中野琢斗
三浦梨央	
岡田大輝	
三浦梨央	

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数	
小倉創	3	0/3	17	2	1	4	2	68
三浦梨央	1	1/3	12	5	0	5	3	52
岡田大輝	0	2/3	1	0	0	0	0	6
三浦梨央	1	1/3	7	2	0	2	1	19

星槎東京・通

	ポジション	氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7						
1	一	酒井康太	5	1	3	4	遊飛	中飛		左安	二安		右安						
2	遊	大立目隆己	3	0	1	2	二ゴ		投ゴ	中安	四球								
3	三	西村颯真	4	1	1	0	中3		遊飛	遊ゴ	三併								
4	捕	宮澤陽向	1	0	1	0	四球		四球	右安		四球							
5	投	吉澤誠章	3	0	1	0	三失		左安	四球		三ゴ							
6	中	江頭佑星	4	0	0	0			三振	投ゴ		二直							
7	左	小林黎也	4	3	2	0		遊ゴ		三失	左安		中2						
8	右	中村泰紀	1	1	0	0		投飛		四球	死球								
8		前田光紀	1	0	0	0							中飛						
9	二	榊原悠斗	0	2	0	0		四球		四球	四球		四球						
合計			26	8	9	6	残塁:10 併殺:0												
備考																			

■バッテリー

投手	捕手
吉澤誠章	宮澤陽向
酒井康太	
西村颯真	
吉澤誠章	

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数	
吉澤誠章	3	2/3	17	1	1	3	0	59
酒井康太	2	1/3	7	0	1	0	0	20
西村颯真	0	2/3	4	0	2	0	0	19
吉澤誠章	0	1/3	2	0	0	1	0	5

■戦評

駒沢球場で行われた準々決勝第2試合はともに同球場で行われた準々決勝をコールドで制した長尾谷高校・通信制と星槎国際高校・東京・通信制の対戦となった。長尾谷は準々決勝で1イニングを救援した小倉に星槎国際・東京は今大会初登板となる背番号1吉澤に先発のマウンドを託した。星槎国際・東京は初回3番西村が三塁打で出塁すると四球で出塁した一塁走者宮澤との間で鮮やかに重盗を決め1点を先制する。長尾谷は4回連続四球で好機を作ると敵失により同点に追いつく。しかし星槎国際・東京はその裏1番酒井2番大立目の連続2点適時安打により4点を勝ち越すと5回に1点を追加する。反撃を試みたい長尾谷であったが星槎国際・東京投手陣の前に2回に6番近藤が放った中前安打1安打のみに抑えられ点差を縮めることができない。星槎国際・東京は7回一死一三塁から1番酒井がこの試合4打点目となる適時安打を放つと相手の守備が乱れる間に一塁走者も生還し試合終了。7回コールド8-1で星槎国際・東京が勝利し決勝戦に進出した。一方敗れた長尾谷であったが三浦岡田小倉三投手がそれぞれに持ち味を生かす投球を見せ守りから作ったリズムで効果的に得点を奪っていく野球は全国三位の名にふさわしいものであったことは言うまでもないだろう。